

豪州企業が所有する個人情報へのサイバー攻撃による不正アクセスについて

令和4年12月14日

本年11月、豪州の医療保険会社メディバンクが、外部からのサイバー攻撃による不正アクセスにより、顧客情報が流出した可能性がある旨発表しました。同社は、旅券に関しては、旅券番号及び旅券の発行国に関する情報が流出したと公表し、旅券の再発給が必要である場合の費用を負担する旨表明しています。

上記を受け、日本国旅券の再発給に関してご照会を受けておりますが、外務省としては、現行の日本旅券にはIC機能が付されており、旅券冊子自体をお持ちであれば、旅券番号や発行国の情報が外部に流出したとしても、これにより旅券の偽変造など、悪用の可能性は考えにくく、今回の事案を理由とした旅券の再発給は不要であり、引き続き現在所持する旅券をご利用頂くことに問題はないと考えておりますので、お知らせいたします。

なお、本件に関し、何らかの特別なご事情がある場合には、お住まいの地域を管轄する日本の在外公館までご相談ください。